

【第1回病院機能等改編計画策定委員会】

日時：平成30年8月20日（月）18：30～19：45

場所：市立吉田病院 3階 講堂

出席者：委員9名（欠席2名）、事務局7名

開会に先立ち、出席者全員が7月の豪雨災害により亡くなった方々に対し黙祷した後、委員長選出まで事務局により進行した。

1. 理事者挨拶

宇和島市病院局（病院事業管理者）による挨拶

2. 自己紹介・事務局紹介

出席委員9名及び事務局7名による自己紹介

3. 議事

(1) 委員長選出

（事務局）

続きまして、議事の方に移らせていただきます。1. 委員長選出。お手元の資料の病院機能改編計画策定委員会設置要綱をご覧ください。第5条に、「委員会に、委員長及び副委員長を各1人置く。」となっております。また「委員長及び副委員長は、委員の中から互選する」とあります。この委員会におきまして、吉田地域の皆様の意見・意向を反映していくにあたって、住民代表の皆様の中から委員長をお願いできたらと思いますが、どなたか委員長のご推薦はございませんでしょうか？（間）

（●●委員）

●●●●さんが適任だと思いますので、お願いいたします。

（一同）拍手

（事務局）

●●委員、推薦がありました、いかがでしょうか？

（●●委員）

はい。

～委員長、議長席へ移動～

（議長）

それでは失礼いたします。まず最初に、先月豪雨によりお亡くなりになった方、被害に遭われた方に対して心よりお見舞いを申し上げます。また只今皆様のご同意を得まして委員長という重責に就かせていただきますが、なにぶん十分に理解していない所も多々あるかと思いますが、委員の皆様のご協力によりまして目的達成のために進んでいきたいと思っておりますので最後までどうぞよろしくお願いを申し上げます。

議事の方は既に進行しており、今日2名の委員が欠席しておりますが、委員会設置要綱6条の2項により過半数の出席があり、この会は成立しておりますので、そのことをまずご報告します。

それでは、副委員長の選出をしたいと思いますが、委員長の推薦・指名でご同意いただけませんか？

（一同）拍手

ありがとうございます。それでは非常に僭越ではございますが、●●委員にお願いできますか？

（●●委員）

はい。

（一同）拍手

(2) 会議の公開・非公開について

(議長)

それでは、(2) 会議の公開・非公開について議題といたします。本日は第1回目の会議で、今後何回か会議を重ねていくわけですが、この会議を公開するか、非公開にするかということをご各委員に意見を求めたいと思います。それぞれ、公開・非公開のメリット・デメリットがあると思いますが、どのような形にしていけばよいでしょうか？

(●●委員)

事務局、今、市の会議は公開・非公開に対してどのような形をとっていますか？

(事務局)

まず、先程議長が言われた会議の公開非公開のメリット・デメリットについてですが、メリットとしまして、会議の透明性が保たれる、ガラス張りになる。デメリットとしましては、どの委員が何を発言したかが分かってしまうので各委員さんが正直思っていることを率直に言えなくなる恐れがあります。宇和島市におきましては、すべてではありませんが非公開としている会議が多いと聞いております。以上です。

(議長)

ありがとうございました。今、事務局から説明がありましたが、各委員さん、いかがでしょうか？●●委員。

(●●委員)

はい。今おっしゃられたように、すべて公開にしてしまうと皆さんが思ったことが言えないと思いますので非公開とした方が良いのではないかと思います。

(議長)

はい。ありがとうございます。そのほか、どなたかご意見はありませんか？

(●●委員)

私も●●委員に賛成です。

(●●委員)

私も非公開が良いと思います。正直な意見が出る方が良いのではないかと思います。

(●●委員)

はい、同じく非公開をお願いします。

(●●委員)

この会議においては忌憚のない正直な意見を出すのが良いと思いますので、指摘を受けたり意見を出しにくい雰囲気にならないよう非公開にするのが良いと思います。

(議長)

ありがとうございました。それから、病院局からも、●●委員、いかがでしょうか？

(●●委員)

私達としては、吉田の皆さんが大正10年からある歴史ある吉田病院が今後どうなるのかということをご不安に思っておられることだと思いますので、率直な意見を活かして欲しいと思っております。別に隠すつもりは全くありませんが、非公開にしてもらって、必要であれば名前を公開せずに議事録を出すと。そういった形で一般には対応できるんじゃないかと私は考えております。

(議長)

ありがとうございました。この後の議題にも踏み込んでお話しいただきましたが、会議としては、委員の皆さん、非公開が良いのではないかとということですが、それについて異議はございませんか？

(一同) 拍手

ありがとうございました。それでは、この会は非公開にするということで決しました。

それから、一部、一般の住民でない、オブザーバーみみたいな形での参加を希望する方がおられると聞いておりますが、説明をお願いします。

(事務局)

はい。私の方へ事前に、吉田町の住民の方々がオブザーバー出席はどうでしょうか？と、若しくは各団体の長であればオブザーバーはいかがなものでしょうかとご提案を受けております。この件につきましても、皆さんのご意見を拝聴したいと思います。議長お願いします。

(議長)

ありがとうございます。先程一般の方には非公開ということでしたが、それとは別に各種団体や市議会議員の方の参加についての取扱いはどのようにしましょうか？ご意見がある方。(間)

なかなか練引きするのが難しくなるのではないかと思います。また後で協議しますが、公の会ですので議事録は公開するようになるでしょうし、オブザーバーの参加も認めないという方向で私自身は考えているのですが、いかがでしょうか？ご賛同いただけるのでしょうか？

(一同) 拍手

(3) 議事録の公開・非公開について

(議長)

それでは、会議は非公開、オブザーバーの参加も認めないということで、11名の委員による忌憚のない意見を進めていくということで決しました。

次に、議事録の公開・非公開とありますが、非公開は当然ないだろうと思いますが、議事録の公開について皆さんの意見をうかがって決定したいと思っております。また公開方法についても、どのようにするかご意見をいただけたらと思います。どなたかございませんか? ●●委員。

(●●委員)

議事録の公開というの、広報に載せるのでしょうか?

(●●委員)

ホームページ上で公開するようになると思います。

(●●委員)

先程も話し合ったように、誰が何を言ったかなど個人名というのはもちろん出さない…?

(●●委員)

そこを審議していただきたい。議事録の公開はしなければならぬと思いますが、個人名を出すのか、「委員」とするのかご検討いただければ。

(●●委員)

個人名を出すのはやめた方が良くと思います。自由に発言ができなくなるから。

(議長)

という意見があります。個人名を出すと、会議を非公開・オブザーバー参加を認めないとしても、誰が何を言ったかが分かってしまうため、自由な発言の妨げになる恐れがある。議事録の中でも、発言者が特定できないように「委員」とするで良いでしょうか? 異議がある方はおられませんか? よろしいでしょうか?

(一同) 拍手

(議長)

議事録は、委員の個人名を伏せて公開することで決しました。

(4) 計画策定にあたって(吉田病院の現状及び医療制度の説明等)

(議長)

それでは、4. 計画策定にあたって、事務局の方から説明をよろしくお願いします。

(事務局)

それでは説明をさせていただきます。

※以下、配布資料に基づき説明を行った。

●宇和島市立吉田病院 病院機能等改編インセンティブ

- ・吉田病院は新館、中棟、南棟で構成されているが、中棟は築52年経過しており I S 値は0.22、南棟は築37年経過しており I S 値が0.33である。
- ・中棟、南棟は建物の耐震性不足等の老朽化・給排水等の設備の陳腐化が深刻で病棟運営が危険である。

●平成20～29年度における年間外来患者数、1日外来患者数、年間延入院患者数、1日平均入院患者数について

- ・患者動向は、吉田地区の人口減少に伴い右肩下がりとなっている。

●地域包括ケアシステムと2025年モデルについて

- ・7年後の2025年には段階の世代が後期高齢者となり、超高齢化社会を迎え、現在の入院ベッド数や国の財政状況では対応できなくなる。
- ・そのような状況に対応・解決できるモデルとして地域包括ケアシステム2025年モデルが厚生労働省から提示された。
- ・地域包括ケアシステムとは、自宅を中心として保健・介護・医療を必要な時に必要なだけ利用するものであ

る。

●宇和島市立吉田病院 病院機能等改編計画のスケジュールについて

- ・当改編計画策定につきましては医療コンサルティングの専門業者が調査・報告・提案をしながら、策定委員会が検討・協議を行って最終案を決定する。
- ・1月末が策定完了予定だが、委員が十分に納得いく結論を出していただくまで審議を尽くす。

(議長)

事務局からの説明が終わりました。今日初めて聞く説明なのでなかなか分かりにくいこともたくさんあるだろうと思いますが、何か聞いておきたいことや質問があればお受けしますが、いかがですか。

(●●委員)

聞きたいことも分からないくらい難しいです。

(議長)

要するに、今後、吉田病院をどういう形にしていくかということがこの委員会に課せられた問題だろうと思います。我々の地区の病院ですから、どのような形で残して欲しいかという意見を出していただければと思います。今日はまだ1回目ですので、最初からいきなりというのも無理だと思いますので、今日は情報収集と言いますかお聞きいただくということではいかかかと思えます。

最後の行程表の案について、本日の1回目から、月1回ずつと会を開いていきます。その中で、それぞれの問題点を検討・審議していただきますが、予定では2月にこの委員会の報告となっておりますが、決してこの期限を超えてはならないということではありませんので、十分な審議もしていきたいと思っております。それから、私が見て一つ気になったのが、住民説明会が12月に予定されておりますが、当地区では12月が果たして良い時期なのかと疑問に思えます。このことについて、各委員さんに意見を求めたいと思えます。いかがでしょうか？

(●●委員)

今、災害からやっと少し元気になりかけているところで、とてもではないが住民説明会ができるような状況ではないのではないのでしょうか？

(議長)

この委員会は月1回行い、粛々と進めていきたいとは思っておりますが、住民説明会を12月に行うのは、この地区ではみかんの農作業的にも忙しい時期なので、できれば1月頃が良いのではないかと思います。皆様はいかがでしょう？

住民説明会を開いたとしても、なかなか出席してもらえないのではないかと思います。

まだ先の話ですし、今日決める事ではありませんので、できれば1カ月後、年明けが良いのではと思えますが、このことについては、今後ご検討いただきますので、頭の片隅に入れておいてもらったらと思えます。よろしいでしょうか？

(●●委員)

1月下旬頃が良いのでしょうか？

(議長)

そうですね、中旬以降でどうかと思えますが、月末じゃなくて良いと思えます。

この後、議会への報告等いろいろ予定はあるとは思えます。それらを加味しながら検討していきたいと思えます。

それでは、計画策定についてはこれでよろしいでしょうか？また、この資料を持ち帰って、家で目を通して頭の整理もしていただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

●●委員、何かありますでしょうか？

(●●委員)

私は吉田へ帰ってきて3年あまりですので、詳しいことは分かっておりませんが、吉田町が宇和島市と合併して、良く聞く話で、宇和島市の中に市立病院として市立宇和島病院・市立吉田病院・市立津島病院と3つの病院が今現在ありますが、普通、日本の他の市を見ますと、一つの市の中に3つ市立病院があるのはおかしいということで、吉田病院がなくなるのではないかという噂を耳にしますが、宇和島市側としてはこのまま吉田病院が存続するという方向性でよろしいのでしょうか？

(●●委員)

(吉田病院が) どうすれば生き残れるか、それは宇和島も含めてです。宇和島も医者がどんどん減っていていますし、今から高度急性期が数十床増えますから、医者と看護師をどう確保するか、今の時点では把握できま

せん。そういう中でどうするかといったところです。少し雑談にはなりますが、(吉田病院を)なくそうと言っても、例えば今回の水害でも(吉田病院の入院患者を)持って行くところがないんです。なくせないんです。少なくとも2030年から2035年くらいまでは、その後、若い人が帰ってこなければどんどん減る。この時にどうするかという問題がありますが、とりあえず(今のところ)は、なくせないんです。だから市長も(吉田病院を)なくそうという考えはないと私は思っております。●●委員がおっしゃるように、今全国で一つの市に2つ以上の市立病院はそれほどはないんです。だから第三者的に考えたら7万人の市に3つの市立病院がいるかというのは一般的には言われることかもしれません。が、それは我々が決めることであって、周りに言われる筋合いはないという話であって、さっきちょっと触れましたけど、平成26年6月25日に19の法案が一括改正された。そして地域での医療ということを義務付けられて、全責任は知事が持つという話になった。ただ変に誤解されると困りますが、宇和島病院を含めて今のままの医療を続けることは考えられない。

(●●委員)

後は、今、この吉田病院の、常勤の先生が内科の院長・外科・歯科のみと考えると、今以上のことを吉田病院にあれもこれも望むのは、医師の数もそうですし、看護師・検査技師等職員の数が全く足りていないと私から見ても思います。例えば、吉田病院にこうして欲しいああして欲しいと言うためには、絶対的に人を増やさないとどう考えても、吉田病院の機能が上がるってことは難しいと思います。例えばもっと常勤医の数を増やす、看護師の数を増やす、パラメディカルの数を増やすことができない限りは、私はこの先吉田病院が存続していくのは難しいのではないかなと言うのが率直な意見です。もちろん、じゃあ募集したからといって、医師・看護師・パラメディカルが集まるかという問題もあるとは思いますが、それが一番の問題なのではないかなと私は思います。逆に医師・看護師・パラメディカルの数が少ないと、救急車の受け入れもなかなかできないと思いますし、救急隊も吉田の患者は吉田で受け入れて欲しいのに宇和島に送らないといけないという状況に今の現状だとなっているのではないかと思うのですが。

(●●委員)

失礼します。ただ、院長先生一人にかなり負担が大きくなるのも事実なので、私も正直、今●●委員が言われたように直近の医療機関に見ていただくのが一番いいのですが、吉田病院の状況も聞いておりますので、無理な時は宇和島に送ることもあります。ただ挨拶でも言いましたように、先月の災害時には、かなり院長にご迷惑をかけたのではないかと思います。転院搬送も多かったが、一回目の初診では見ていただいて、件数はかなり多かったと思います。通常時の件数は、正直少ないとは思いますが。

(●●委員)

医師の確保は、ここ10年来無理なんです。ご存知のように専門医制度が導入されて、点数を稼いでキャリアを積み上げないと専門医になれない制度になっているので、若手が来るというのは絶対に無理ですね。愛大にも長年働きかけていますが、募集もしておりますが、問合せすらないです。

(●●委員)

ちょっとよろしいですか？今、吉田病院の話ではありますが、医者の世界は特殊で、封建的な世界で、●●委員や●●委員はご存知だと思いますが、例えば、ここに愛大の医者がいるのによそ(愛大以外)の医者を一人入れたら今いる(愛大の)医者がやめるんです。そういうことを一般の人にはなかなか理解できない。ダヴィンチがないと外科医は来ません。ダヴィンチなんて赤字の元凶です。でもそれを入れないと医者が来ないというのが現状なんです。その中で、どうしていくかということが課題です。例えばの話、病院を定年で辞められた医者、まだ65歳ですので(医者を続けられる)、でも開業するのはどうかと思う、しかし医者をやめるのもどうかと思うような人をそのままの給料で雇うから来てくれないかと言うけれども、その人が来ない。宇和島病院に関しては、政策医療をやっているわけです。この地域の医療を守るのが使命です。私は●●という役職ですが、これは宇和島市の医療を守れば良いということではなく、この地域の医療、というのは宇和島病院がそれを守ってきた100年来、今107年の歴史がありますが、その歴史の中で積み重ねてきた政策医療をやっているから、行政への医療支援もそうですし、この圏域の医療をどうするか、今程、医療圏について説明がありましたが、確かにその通りなんです。事実上、西予市は宇和島医療圏に入っています。そして梶原、宿毛まで入っています。

別の言い方をすると、その患者さんがいるから今経営が成り立って、同じ病院局の吉田病院に年間1億のお金を(貸付できる?)。さっきの事務局の説明に不満があるのですが、愛大だけではなく宇和島病院からもかなりの医師を派遣しております。それが現状です。

勇敢な人がおられて、公立病院なんだから赤字いくらあっても良いじゃないかと言う人もおられますが、それは国が認めてくれません。行政でやっている以上は、公立病院である以上は、政策は守らざるを得ないんです。そのためにどうするかです。

(●●委員)

さっき●●委員が言われた通り、いかに経験を積むのか、それによって、昔は、我々の時代は医学博士で、今

はむしろそれよりも専門医、あるいは指導医を取る。そのためには、内科の場合、3年間で70疾患200症例を経験して、初めて受験する資格が得られる。そうすると若い人はそれを取るために結局都会に集まる。そうすると指導医がいて、症例もあって、経験を積める、という病院に集まるわけですから、2016年に始まったいわゆる研修医制度の二の舞が起こる。残念なことに、市立宇和島病院は内科の専門医の課程が取れていないんです。なので内科医はまだ経験を積んでいる状態。外科は一部の者は取れていますが、内科は呼吸器の医者・腎臓の医者がない、そういう形で（取りたくても）取れない。先程から言っておりますが、真面目に宇和島病院がこのまま存続するかどうかは分からない。それらを踏まえ、最初の議長の話に戻りますと、宇和島市自身も吉田病院をなくすとは思えません。

（議長）

言われる通り多分初めて聞かれる方多いだろうと思いますが、現在の病院とはそういう状態なんです。その中で吉田病院をどういう形で残していくかを検討するのがこの委員会ですので、これから委員の皆さんも情報を集めたり、自分の考えをこの場で発言していただいて、吉田の住民のためになる病院としてどういう形で残したら良いかを検討していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今回はこの辺にして、また次回からいろいろな話を進めていきたいと思っております。

（5）コンサルタント業者の紹介

（事務局）

5月に入札を行いましてコンサルタント業者が決定しております。本日お越しいただいております業者になりますが、私の方から紹介させていただきます。

～コンサルタント会社の概要紹介（資本金、構成、従業員数、業務実績等）～

（6）コンサルティングの進め方について

※以下、プロジェクター及び配布資料に基づき業者が説明を行った。

資料：「病床機能の明確化・事業計画策定支援業務」

（総合メディカル株）

では、改めてよろしく願いいたします。皆様、お手元に冊子の方はございますでしょうか？

今回、「病床機能の明確化・事業計画策定支援業務について」ということで、「コンサルタント」と言いますと横文字になってしまいますが、正直「コンサルタント」と言うよりは一緒に考えていけたらと思っております。そして、皆様方のほうでなかなか手が回らない所を我々が資料の収集や、データの分析をしたりして、今後の決定に少しでも一助になればと思っております。ですので、今回、この策定支援の『支援』というところが非常に大事な単語と思っております。あくまで皆様を『支援』させていただいたらという立場で臨んでいけたらと思っております。

●本支援の目的

- ・地域医療の視点を基に、今後、市立吉田病院が中長期的なビジョンとポジショニングをどう明確にしていくのか、後どういった立ち位置で行くのかを明確にしていくこと。

●地域包括ケアシステムと2025年モデル

- ・事務局説明と重複するため割愛。

●病床機能の明確化・事業計画支援について

- ・人口推計や医療・介護などの外部環境調査、市立吉田病院の患者動向、診療実態、財務状態、人員計画、給食業務などの内部環境調査により、市立吉田病院の抱える課題や強みなどの現状分析を行う。
- ・現状を踏まえたうえで、どういった病床機能が必要なのか、そのためにどういったベッド数が必要なのか等の病棟再編検証シミュレーション、事業収益計画策定を行う。

（議長）

どうもありがとうございました。総合メディカルさんの方で、これからの会で審議いただく資料として提出していただきますので、それを参考にしてこの会を進めていきたいと思っております。よなります。今までのところでも、全体の事でも構いません、何かご意見がございましたらご発言をお願いします。どなたからでも構いませんが、何かないでしょうか？●●委員。

(●●委員)

はい。大丈夫です。

(議長)

よろしいですか。

(●●委員)

はい。

(議長)

まあ1回目で不安になる事、耳新しい事ばかりで聞いてびっくりされた委員さんもおられるのではないかと思います。

(●●委員)

びっくりしております。

(議長)

まあ帰ってゆっくり今日の事を思い出しながら、また次に繋げていただきたいと思います。予定していた議事は以上なんです。8. 次回以降の開催について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

次回以降は、原則第3水曜日に入れさせていただいたかと考えております。時間は本日と同じ18時30分からだいたい1時間半から2時間までということで考えておりますが、皆様のご都合が良ければこの予定で9月・10月・11月と会の方を開かせていただきたいと思います。いかがでしょうか？

(議長)

今、事務局の方から提案がありましたが、日程の方はいかがでしょうか？

(議長)

この日程でご協力いただけますか？はい、そしたらよろしく願いいたします。他に…

(●●委員)

一つよろしいですか。宇和島の方で、病院局の方で、必要な資料そのほかあれば言ってもらったら、あらかじめ言ってもらったら作って提出するようにいたします。

(議長)

●●委員からそう言っていただきましたので、何かこの資料が欲しいなという方がありましたら、病院局にも言っていただいて、作って用意していただけたらと思います。

(●●委員)

吉田病院を通じて病院局へ言っていただいても構いません。さっきのように例えば何年に何があったということはなかなか分からないと思いますから、そういう資料が必要であれば。

(議長)

時間も予定した時間になりましたので、それでは、1回目の委員会をなんとか無事終わることができました。なにせ不慣れでございますので、至らない点もあったかと思いますが、私も誠心誠意頑張っていきたいと思っておりますので、委員の皆さん、最後までご協力のほどよろしく願いいたします。どうもお疲れ様でした。